

1975.8.30 朝日

### 平和への願い 湯川氏に学ぶ

東京都 大六 俊雄  
(発行員 29歳)

本紙「パンウエックス」を自

前にして」を讀み、湯川秀樹氏が病氣療養中なのに世界平和達成へ燃やされている意欲を私は感ぜざりませんでした。はつきり話ながら二十九歳にして初めて「パンウエックス」が二十年来、何十回となく開かれ、真の核戦略めざして具体化のための全体計画の話が進められていくことを知りました。

湯川氏は「世界平和の達成は核軍縮だけで済むものではなく、全面完全軍縮の達成、そのためには各国が軍備を持たない世界での各国の安全を保障できるような世界的機構の樹立—それはつまりは世界連邦の出現—という方向に進んでいかねばならない。少くとも私自身を信じている」といわれました。国益優先のため、人間の生命を手段化してはならないという人類生存の原点をどう入念に科学者としての「使命宣言」をも感じ、いれ、胸を熱くする思いで再読しました。湯川氏の健康の回復を二十八日から始まった会談の成功を祈ります。

c092-17-025